



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

こんな世界にしたいわね!



わー、若い人ち
すっかり考えてい
ますね。考えてみ
れば、これまで素
晴らしいとして使っ
た、石油、原子力発
電、プラスチック製
品そして通信機器
の発する電磁波な
どそのマイナス面
があらわになり見
直しが求められて
います。

あけましておめでとう
ございます。コロナ禍
の中、皆様はどんな年
明けを迎えられたでし
ょうか。昨年、本当に
私たちが経験したこと
のない年でした。世界
中がウイルスという得
体の知れないものた
めに右往左往した年
でした。過去にこんな
こともあったという
知識では知っていても
、実感としての恐怖、
生活上の不便さ、鬱積
した気分は初めての
ものでした。文明の発
達によって私たちは
なんでも乗り越えら
れると勘違いして好
き放題暮らしてきた
のではなかったか。こ
れらを見つめなおす
機会かもしれません。
これからどうなるの
だろう？と心配はあり
ますが、未来を見つめ
てみましょう。若い
方々に聞いてみたい
です。

「すっかり意見を世
の中に発信できる
いいな」「世界には
紛争や貧困、感染症
などがあがるが、そ
れを正そうとする人
、感染症を完治させ
ようとする人がいる。
そういう人たちの積
み重ねがある今の世
界が、平和が続いて
ほしい」「どんなお
しゃべりも安心して
いえる社会になって
ほしい」「環境問題
を実現して、生物と
共存できる世界」
「事件や戦争のな
い平等できれいな地
球」「平和で皆が楽
しく家族と過ごし
る夢に向かってい
る未来」「保育園に
就職した。この生き
生きとした子供たち
が自己肯定感の低い
若者になってモノ
言えない若者にな
るのをおかしい。
大人と話してみた

で平等な世界、大切なものは何か。しっかり見据えて行動したものです。

わー、若い人ち
すっかり考えてい
ますね。考えてみ
れば、これまで素
晴らしいとして使っ
た、石油、原子力発
電、プラスチック製
品そして通信機器
の発する電磁波な
どそのマイナス面
があらわになり見
直しが求められて
います。

シリーズ 私たちの憲法

憲法を守らなければならないのはだれ？

憲法を守らなければならないのは私たち国民でしょうか。そうだと考える方もおられるでしょう。答えは憲法に書いてあります。

日本国憲法 第99条 (憲法尊重擁護義務)
天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

この中に私たち国民は記されていません。憲法を守らなければならないのは国民ではなく、政治家など国家権力の行使に携わる人に守る義務を負わせています。自民党改憲案を見ると全く逆の「国民は憲法を守らなければならない」と掲げています。

自民党改憲草案 102条1
全て国民は、この憲法を尊重しなければならない。

この草案は国民主権が分かっているのでしょうか。安倍前首相も理解に苦しむ発言を国会で繰り返していました。憲法は国民(主権者)が作りそれを国会議員また公務員などに守らせ、**国家権力を縛る**ものです。

今月の予定です
— 皆さん 気軽に参加ください —

1月9日(土) 13:00 ~ 16:00
野田・九条の会 1月例会「新年度の活動方針、最近の情勢懇談」
榎のホール 研修室 野田・九条の会

1月9日(土) 16:00 ~ 17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール 雨天中止
愛宕駅 東口前 野田・九条の会

1月10日(日) 13:30 ~ 16:40
DMD 視聴と意見交換 「みんな違っていい!バリアが面白い」
南部梅郷公民館 コロナ対策で13人限定 南地域九条の会

1月19日(火) 16:00 ~ 17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール
梅郷駅 通路 野田・九条の会

1月29日(金) 16:00 ~ 17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール 雨天中止
川間駅 北口広場 野田・九条の会

2月7日(日) 13:30 ~ 16:30
DMD 視聴と意見交換 映画「橋のない川」原作住井素監督 今井正
南部梅郷公民館 南地域九条の会

明 けましておめでとうございます。非常に厳しかった2020年も終わり希望を託した新年を迎えることとなりました。皆さん、いかがお過ごしですか。

九条の会も昨年を振り返り、より良い活動を目指し話し合っているところです。2020年はコロナウイルスによってすべての国民生活が大きな影響を受け、打撃を受けた1年でした。この災害でもあるウイルスとの戦いは当分の間続くものと思われまます。そして多くの課題を突きつけられています。

これらを解決するために皆さん九条の会とともに考えていただけないでしょうか。コロナウイルス感染はパンデミックともいわれ全世界に広がった結果、私たちの生活へも多くの苦痛をもたらされました。連日の感染者数の拡大、重症者、死者数の増加は何としても食い止めなければなりません。

当然ながら日常生活に大きな制約が要求されています。生産、流通、消費などのあらゆる分野の活動に困難が生じ停滞しました。結果として経済活動に携わる人々がそこからはじき出され、職と収入を失う状況に至りました。例えば厚生労働省の統計によるとコロナ禍での解雇者は7万6000人となっています。これは労働局やハローワークに寄せられた相談数で、表面化した数字だけですからここに現れない数字がどの程度になるか大いに危惧されます。職を失うことによって、住も、食も失い、勉学継続も困難とな

り、多くの国民は危機的状況に直面しています。

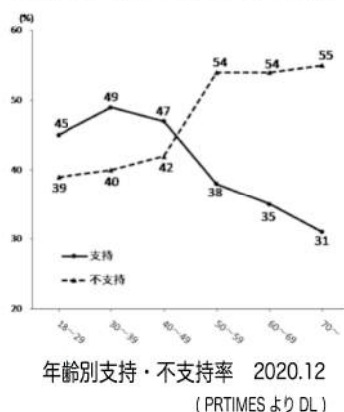
菅 内閣の支持率が大きく下がりました。そして不支持が支持を上回りました。慌ててGoToトラベルの政策を一時停止しました。この共同通信世論調査には年末、年始の旅行、帰省予定の有無が設問にあります。予定していないとの割合は83.6%で圧倒的です。多くの国民はこの状況下では旅行どころではないということでしょう。それを無理に煽り

立ててそれ行け、やれ行けと言いつける菅政権のやり方に対し、国民の怒りが支持率を低下させ不支持が支持を上回る逆転になったものだと思います。さすがに世論を気にし、大慌てでGoToを引っ込めました。菅政権に対する低評価はこれにとどまらず、桜を見る会などの前政権の残滓への対応、首相関係者の多人数会食、ネット番組での「ガースー」発言など国民を馬鹿にした行動が怒りを買いました。菅内閣の

国民生活に重きをおかない性格がたった3ヶ月で露呈したのです。口先だけで国民の命を守ると何度言ったとしても現実が証明してしまいました。国民はしっかり見ているし、怒りがあるということです。状況はまったく先が見えません。いつまで続くかわかりません。が、このアンケート結果が政策を変更させたのです。

「国民は怒っているよ」という状況を明らかにすることがとても大切です。そして大きな声にしていることが大切です。九条の会はそのためにも2021年しっかり活動してまいります。

【図1】菅内閣支持率・不支持率（年齢別：20.12）



母の教えたまいし歌

関 一

画家として生きた母綾子が老衰のため穏やかに98歳の命を閉じました。祭壇に大作を5枚飾るもコロナ禍なので4人の家族葬、ネット配信もしました。

遺影は4年前の「平和のための戦争展」での写真から好きだったラベンダー色を背景に金色の肖像額に入れました。

野田橋のたもと中野台で生まれた母は、戦争の語り部として活動されていた故永野平蔵さんとは幼なじみで日佐戸輝さんとも親しくさせて頂きました。

前述「戦争展」では原爆ドーム画、戦争画と戦争紙芝居を展示、色紙や扇子に絵を描いて頒布する等、実行委員の方々と共に活動してきました。

母の反戦・平和を希求する思いの原点は、慕っていた兄の戦死、福岡での空襲体験と故郷へ帰る列車から見た広島焦土と化した異様な光景でした。

母は時と場所を選ばずスケッチしていたのですが、歌も好きで介護施設でもよく歌っていたようです。

施設で暮らした8年間、彼女の知らぬ間に現政権によって戦争が出来る、学問や芸術文化をないがしろにする国に変えられようとしています。

「戦争はあってはならない、憲法9条を大切に」と教えた母を、故佐藤しのぶさんが歌う「母の教えたまいし歌」を聴きながら、今想っています。